



第15回 多摩ブルー・グリーン賞 表彰式

tama blue green prize



H29.12.13
in Palace Hotel tachikawa



第15回 多摩ブルー・グリーン賞表彰式

次 第

■日時:平成29年12月13日(水) 午後3時00分から ■会場:パレスホテル立川 4階ローズルーム

開 式

主催者挨拶 多摩信用金庫 理事長 八木 敏郎

表彰状授与 多摩ブルー賞表彰

多摩グリーン賞表彰

特 別 賞 表 彰 技術・製品部門特別賞 経済産業省関東経済産業局長賞
経営部門特別賞 東京都産業労働局長賞

講 評 選考委員長 明星大学教授 関 満博
一橋大学名誉教授

来賓祝辞

閉 式

*受賞企業による写真撮影

以上

多摩ブルー・グリーン倶楽部情報交換会

目次

ごあいさつ	1
第15回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項	2
第15回 多摩ブルー・グリーン賞選考講評	3

多摩ブルー賞(技術・製品部門)受賞者

●最優秀賞 株式会社 不二WPC	4
異物混入対策としての、食品粉体の滑り性向上、付着防止用表面処理の開発	
◎優秀賞 エー・アンド・エー株式会社	5
3Dセンサー技術を用いたデジタル側弯症検診装置『Di-Boss』	
◎優秀賞 SIシナジーテクノロジー株式会社	6
新型・産業用音声放送ネットワーク端末装置 VOICE-IP TERMINAL II	
◎優秀賞 のぞみ株式会社	7
安定した通信品質を持ち小型で安価な無線センサーネットワーク・システム	
◎優秀賞 MIRAI-LABO株式会社	8
リフィルバッテリー式発電機「G-CROSS」	
◎技術・製品部門特別賞 株式会社 コバヤシ精密工業	9
世界初！産業用ドローン専用エンジンの製品化	

多摩グリーン賞(経営部門)受賞者

●最優秀賞 医療法人社団 大日会 太陽こども病院	10
太陽こども病院のミッション～未来を担うこども達のために私達がやるべき事～	
◎優秀賞 株式会社 オギノパン	11
悪条件を独自性でカバー。今後は供給を絞ることで売上増を狙う。	
◎優秀賞 医療法人社団 おなか会 おなかクリニック	12
社員や家族を胃がんでなくさないための若年者ピロリ菌スクリーニング検査の普及活動	
◎優秀賞／経営部門特別賞 日昭工業株式会社	13
仕組みで回す！ 全社員参加の経営	
●多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介	14

私たち多摩信用金庫は たまの力を応援します

ごあいさつ

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に実施してまいりました「多摩ブルー・グリーン賞」は、おかげさまで平成15年のスタートから15回目を迎えることができました。

本賞は、多摩地域で活躍する企業の優れた技術・製品や経営モデルを表彰することで、さらなる技術力や経営モデルの向上を促し、ひいては地域の発展につながることを願い実施するものです。

ブルー賞とグリーン賞合わせて153件と多数のご応募をいただき、第1回からの応募総数は延べ2,066件となりました。これもひとえにこれまでご応募いただきました多くの方々、選考委員の方々、また、ご後援をいただきました支援機関の方々のお力によるものと心より感謝申し上げます。

今回の応募内容につきましては、ネットワーク分野をはじめとしたIoT関連等現代的な分野での多様な形でのものづくりに関する取り組みや新たな技術による生産性の向上に関する取り組みなどがありました。一方で、医療福祉関係、特に高齢者の介護・障がい者の就労支援、あるいは創業支援に関する取り組み等、個人を対象とした内容が多くありました。

社会のニーズや変化を的確に感じ取り、さらなる発展を目指して活躍している企業が多く存在することは、多摩地域の豊かな暮らしと繁栄に大きく貢献するものと確信しています。

今後も、たましんは、「たまの力」の発展のため、地域インフラとしての役割を果たすとともに、地域の活気創造に寄与してまいります。

今後も変わらぬご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。






多摩信用金庫
理事長 八木 敏郎

第15回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、中小企業、団体または個人事業主の皆さまが開発した、優れた「技術や製品」と新しい「ビジネスモデル」を通じての「地域経済への貢献」を表彰します。

表彰内容・対象部門

多摩ブルー賞【技術・製品部門】	多摩グリーン賞【経営部門】
優れた技術や製品等により地域経済の発展に貢献した、もしくは貢献が見込まれる中小企業、団体または個人事業主を表彰します(既に発表もしくは実用化されているものを対象とします。)	新しいビジネスモデルにより地域経済の発展に貢献した中小企業、団体または個人事業主を表彰します。
 最優秀賞 表彰状・盾 1件 副賞 100万円	 最優秀賞 表彰状・盾 1件 副賞 100万円
 優秀賞 表彰状・盾 数件 副賞 50万円	 優秀賞 表彰状・盾 数件 副賞 50万円

特別賞

【技術・製品部門特別賞】

◎**経済産業省関東経済産業局長賞(1件) 表彰状**
多摩ブルー賞受賞内容のうち、単独の選考基準の項目において著しく評価が高い中小企業、団体または個人事業主を表彰します。

【経営部門特別賞】

◎**東京都産業労働局長賞(1件) 表彰状**
多摩グリーン賞受賞内容のうち、単独の選考基準の項目において著しく評価が高い中小企業、団体または個人事業主を表彰します。

※上記以外の特別賞を設ける場合がございます。

選考方法	学識経験者などで構成される選考委員会において厳正かつ公正に選考します。
選考基準	各部門の選考にあたっては、応募内容に関し、以下の選考基準の各項目を総合的に勘案して行います。 「独自性・革新性」、「市場性・収益性」、「地域性(地域経済への波及効果)」、「継続性」、「社会性」
選考日程	応募期間：平成29年5月22日(月)～9月1日(金) 第1次選考：平成29年9月20日(水)～応募書類による選考 第2次選考：平成29年11月2日(木)第1次選考通過者によるプレゼンテーション選考 最終選考：平成29年11月13日(月)第2次選考の結果を踏まえ、各賞の該当者を選出
選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●選考委員長／関 満博 明星大学教授 一橋大学名誉教授 ●副選考委員長／石川 晴雄 電気通信大学 特任教授 名誉教授 ●選考委員／工藤 浩一 経済産業省関東経済産業局 地域経済部地域振興課長 田代 純子 東京都産業労働局 商工部創業支援課長 荒川 豊 (地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ 総合支援課長 傳田 純 東京都商工会連合会 専務理事 田中 敏夫 (一社)東京都中小企業診断士協会 三多摩支部長 高橋 陽子 (公社)日本フィランソロビー協会 理事長 中村 二郎 NTTアドバンステクノロジー(株) グローバル事業本部 副ビジネスユニット長 八城 守 東京中小企業投資育成(株) 業務第二部長 藤津 勝一 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員 下村 和夫 日本弁理士会 関東支部 東京委員会副委員長(多摩部会長) 市川 嘉一 日本経済新聞社 多摩支局長 川上 克己 毎日新聞社 社会部 多摩総局長

[順不同]

第15回 多摩ブルー・グリーン賞 選考講評

第15回となる「多摩ブルー・グリーン賞」は、「多摩ブルー賞(技術・製品部門)」に71件、「多摩グリーン賞(経営部門)」に82件、合計153件と多数の応募があった。これまでの応募総数も延べ2,066件と2千件台となり、本賞が地域に浸透していることおよび地元企業の継続的な努力をあらためて感じた。

今回も14名による多摩ブルー・グリーン賞選考委員会で厳選な選考を重ねた結果、「多摩ブルー賞」の最優秀賞1件と優秀賞4件、「多摩グリーン賞」の最優秀賞1件と優秀賞3件を決定し、主催者である多摩信用金庫に答申した。

「多摩ブルー賞」の最優秀賞に輝いたのは、株式会社不二WPCの「異物混入対策としての、食品粉体の滑り性向上、付着防止用表面処理の開発」で、微粒子を投射して表面を改質処理するWPC処理により、微細な凹凸を形成し付着防止や摩擦低減等を行う手法である。付着抑制と摺動性向上により食品粉末搬送系の異物混入対策に有効で環境負荷も極めて低い点等を高く評価した。

その他「多摩ブルー賞」優秀賞の受賞内容を見ると、3Dカメラを用いて安全で経済性に富んだ脊椎側弯症検診装置、音声信号のインターネット経由での放送を実現した産業用音声放送ネットワーク端末装置、障害物に強く通信距離も長い小型無線機や電力の連続供給が可能なりフィルバッテリー式電源装置等、先端技術や先端素材を用いて、安全・小型・高精度・低コストで環境負荷の低さを追求した取り組みを多く感じた。

「多摩グリーン賞」の最優秀賞に輝いたのは、医療法人社団

大日会 太陽こども病院の「太陽こども病院のミッション～未来を担う子ども達のために私達がやるべき事～」で、虐待や放任による児童問題が増加する中、一時保護等に医師・看護師達が一体となって子どもの安全や健全な育成に取り組んでいる点を高く評価した。

その他「多摩グリーン賞」優秀賞の受賞内容を見ると、企業の製造・販売環境を独自に改善してお客さ

まへのより良い販売提供を目指す仕組みや、胃がんで尊い命を失わないための「若年者ピロリ菌スクリーニング検査」の普及活動、オープンにした経営計画を社員一丸となって取り組んで社内外の業務改善や地域貢献に繋げる仕組みづくり等、全体で向上心を持ってより良い事業を目指す姿勢と社会的取り組みが多くあった。

今回この選考に関わり、世界初や世界一といった高レベルの取り組みや本業を超えて高いCSR意識を持った社会的取り組み等、様々な企業が技術開発や経営努力をしている姿勢に感服するばかりである。

あらためて多摩地域の企業力“たまの力”の素晴らしさを感じた次第であり、今後の多摩地域の一層の発展を願うとともに、本賞へのますますのご支援を賜りたいと思う。



選考委員長
明星大学教授
一橋大学名誉教授
関 満博

応募件数：153件

◆多摩ブルー賞【技術・製品部門】… 71件 / 多摩グリーン賞【経営部門】… 82件

表彰件数

◆多摩ブルー賞【技術・製品部門】… 最優秀賞1件 / 優秀賞4件

◆多摩グリーン賞【経営部門】… 最優秀賞1件 / 優秀賞3件

◆特別賞 技術・製品部門特別賞 … 経済産業省関東経済産業局長賞1件

経営部門特別賞 … 東京都産業労働局長賞1件

株式会社 不二WPC

異物混入対策としての、食品粉体の滑り性向上、付着防止用表面処理の開発

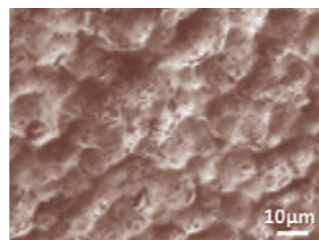
ポッパーや計量器など食品粉体搬送用部品の表面には、粉体の付着防止や摺動性向上のためフッ素系樹脂加工が施されているものが多くあります。フッ素系樹脂加工は摩耗や剥離が起きやすく、摩耗粉や剥離片が発生します。食品製造業では、食の安全を確保するため、異物混入に対する対策が喫緊の課題となっており、搬送用部品の脱フッ素系樹脂化が急速に進められています。また、搬送前には、フルイによる選別がなされますが、フルイの目詰まりによる、生産効率の低下や洗浄による廃棄物の発生なども問題となっています。

本開発技術は、食品搬送用部品の表面にWPC処理(微細な粒子を投射し表面を改質する処理)により、複合的に微細な凹凸(数μm～数10μm)を形成し、粉体との接触面積を減らすことにより、付着抑制と摺動性向上を図るものです。粉体の付着や摺動は接触する面積に依存するため、凹凸面を形成することにより、フルイの目詰まりの防止やホッパーの付着防止が実現できます。

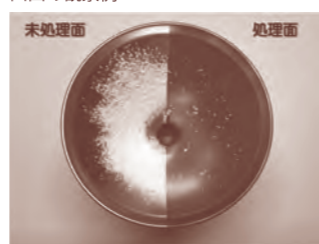
WPC処理は微細粒子を高圧空気で投射するだけであり、サイズ、形状に自由度が大きく、搬送部品などのように、大型・複雑形状のものに対する加工が容易です。微細粒子は回収し再利用されるため、処理そのものも環境負荷の少ない処理法です。また、WPC処理は本来部材の耐久性を向上させる処理のため、効果の長寿命化も期待できます。



フルイの未処理とWPC処理の小麦粉の目詰まりの違い



WPC処理面の走査型電子顕微鏡による凹凸の観察例



未処理とWPC処理の小麦粉の付着の違い

会社概要			
代表取締役	下平 英二		
本社所在地	〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台4-1-83		
業務内容	金属表面処理加工業		
資本金	1,000万円	沿革	創業 平成9年
主な販売・受注先	(株)小松製作所、オリンパス(株)、日清食品(株)		
従業員数	正社員:13名(パート・アルバイト:2名) 平均年齢:39歳		

連絡先			
担当者	技術部 熊谷 正夫		
URL	http://www.FujiWPC.co.jp		
E-mail	kumagai@fujiwpc.co.jp		
TEL	042-707-0776	FAX	042-707-0779

エー・アンド・エー株式会社

3Dセンサー技術を用いたデジタル側弯症検診装置『Di-Boss』

近年、脊椎側弯症は成長期における小中学生を中心に増加傾向にあります。小中学校単位での集団健診が行われますが、その際に発見される発症率は5%と高頻度です。側弯症検診では、まず目視による検査を行い所見に異常が見られる者に対して「X線検査」が行われますが、放射線被曝の問題があります。また、X線に代わる従来の診断方式として他社製造の「モアレ診断用装置」がありますが、目視のため不安定で判定に時間を要する事、装置が大型で高価な事、大量な画像データを人手で処理するため医師への負担が大きい事という問題があります。さらに、製造を中止したために故障した際のメンテナンスが行えず、医師および検査機関は代替機を望んでいました。弊社はこれらの問題を解決すべく本装置を開発し販売を開始しました。

本装置は3Dカメラ、解析用PC、計測台、検診台の非常にシンプルな構成となっています。被検者の背中を3Dカメラで撮影して3次元データを取得し、取得した3次元データから被検者を検出し、体表面の凹凸から脊椎側弯症の状態を推測

します。推定には左右凹凸の違いや体表面のねじれ等を利用します。推定された脊椎側弯症の状態と計測した3次元データは解析用PCに表示・記録されます。従来方式より、安全(赤外線3Dカメラ)・簡易・低コストで、より定量的で高精度の側弯症検診が実行でき、専門医以外でも同一の評価基準での診断を可能にできるという特徴を持っています。



会社概要			
代表取締役	田澤 直樹		
本社所在地	〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井15-8		
業務内容	半導体関連装置製造及び医療・介護機器製造販売		
資本金	2,000万円	沿革	創業 昭和44年
主な販売・受注先	(株)新川、武蔵エンジニアリング(株)、(株)アドバンス		
従業員数	正社員:35名(パート・アルバイト:6名) 平均年齢:42歳		

連絡先			
担当者	代表取締役 田澤 直樹		
URL	http://www.a-and-a.co.jp		
E-mail	naoki.t@a-and-a.co.jp		
TEL	042-588-7966	FAX	042-588-7977

優秀賞

SIシナジーテクノロジー株式会社

新型・産業用音声放送ネットワーク端末装置 VOICE-IP TERMINAL II

VOICE-IP TERMINAL II はアナログ音声信号をインターネット経由で伝送(放送)する産業用音声ネットワーク端末装置です。専用線・共聴設備・一斉放送向けの製品として開発されました。

最大の特徴は、インターネットプロトコルソフトウェアをサーバ機能を含めて完全ハードウェアとしてワンチップ化した点です。そのためサーバを必要とせず、送信側・受信側をインターネットに繋ぐだけで運用が可能となりました。また、オールワンチップ化することでハガキサイズまでの小型化と省電力化を実現。また、OSもソフトウェアも実装していないので、セキュリティホールはもちろんハッキングされないというセキュリティ性の高い製品になりました。さらに、全てハードウェア化してあるので、3秒以内の瞬間起動(音声データ送受信開始)が可能となり、起動中に電源が遮断されてもダメージを一切受けません。

サポート面でも24時間365日、無人運転環境での長期間(7年)の保障をしており、デバイスの廃止への柔軟な対応も実現しました。

堅牢さが求められる社会インフラ向けの製品開発に永年携わりソフトウェアのチップ化(ハードウェア化)を得意とする当社ならではの技術です。3年前に某競馬場に弊社システムを導入させていただき、24時間365日のフル運用で現在も稼働中ですが、まだ一度も故障がなくクレームが来たこともありません。



システム図



製品背面

製品正面

会社概要

代表取締役社長	志村 秀幸		
本社所在地	〒192-0045 東京都八王子市大和田町2-9-2		
業務内容	ICT関連受託開発、IPコア自社製品開発・製造・販売		
資本金	1,000万円	沿革	創業 平成25年
主な販売・受注先	(株)東芝及び東芝グループ、アイテック阪急阪神(株)、池上通信機(株)、アイコムシステック(株)等		
従業員数	正社員:10名 平均年齢:46歳		

連絡先

担当者	専務取締役 池田 憲秋		
U R L	http://sisynergy.com		
E - m a i l	n-ikeda@sisynergy.com		
T E L	042-648-1420	F A X	042-648-1421

優秀賞

のぞみ株式会社

安定した通信品質を持ち小型で安価な 無線センサーネットワーク・システム

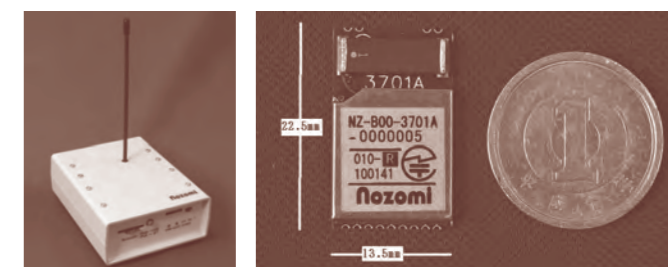
当社は、センサー技術、無線機器を保有し、産業機器に組み込む無線センサーシステム、見守りシステム、農場用のセンサーネットワークシステムを開発・製造・販売しています。右にそれらの写真を示しています。

最近、温度、加速度などのセンサーを元に制御する産業機器が増えてきました。また、センサーからの情報をインターネットに集約し、活用するIoTも普及しつつあります。従来、これらはZigBeeやBluetoothなどの無線方式が使用されてきましたが、通信距離が10~100mと短く、また建物、人や葉などの生体により通信が遮断されるという問題がありました。

近年、登場したLoRaやSigfoxなどの無線では、通信距離がのびたものの障害物に弱く、また通信速度は100bps程度と非常に遅いのです。

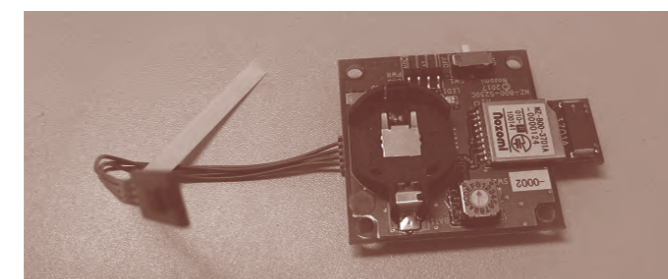
本製品は、電波法による規格ARIB STD-T67の429MHz帯無線を使用しています。「電波法に基づく技術基準適合証明」または「工事設計の認証」を取得済みであり、利用者は免許や資格を必要としません。この無線は従来、小型化すること

ができませんでしたが、本製品はアンテナや部品に先端の素材を使用して小型化を実現しました。無線機は指に載り、重さ1.3gと世界最小で、通信距離も条件の良いところでは1km以上、地下室から屋上までという悪い条件でも安定して通信できます。



BT内蔵無線機

小型無線機



無線温度モジュール

会社概要

代表取締役	高田 淑朗		
本社所在地	〒206-0011 東京都多摩市関戸4-23-1		
業務内容	無線機器の開発製造、組み込みシステムの開発		
資本金	1,000万円	沿革	創業 平成20年
主な販売・受注先	ラピスセミコンダクタ(株)、CMエンジニアリング(株)		
従業員数	正社員:7名(パート・アルバイト:2名) 平均年齢:52歳		

連絡先

担当者	代表取締役 高田 淑朗		
U R L	http://www.nozomicorp.jp		
E - m a i l	takata@nozomicorp.jp		
T E L	042-319-6146	F A X	042-319-6148

MIRAI-LABO株式会社

リフィルバッテリー式発電機「G-CROSS」

世界初!! 発電しない発電機「G-CROSS」

ガソリン式発電機に代わるリフィルバッテリー式 G-CROSS「ジークロス」は、無瞬断でバッテリー交換ができ、継続運転し続けられるリチウムイオンバッテリー式の電源装置です。従来のガソリン式発電機の抱える「排気ガス・騒音・給油の危険性」と蓄電池の抱える「運搬性・継続性の低さ」という問題点を一気に解決しました。最大の特長は、4つの異なる電圧のバッテリーを安定的に制御するコントロール技術とそれぞれのSOC(電圧)の差異を管理し、抜かれたバッテリーを残りのバッテリーが瞬時に補うBMSコントロール技術の相互効果による無瞬断切り替え機能です。そのため、電圧変動を起こすことなく誰でも簡単にバッテリーを着脱交換でき、継続的な電力を確保することができます(特許出願済み)。

さらに、本体からバッテリーを分割することにより人力のみで移動を可能にしました。もし、停電時にエレベーターが止まっても、階段で昇降できます。

また、屋外においては移動用の特殊車両が不要となり、

大幅なコスト削減も実現します。リフィルバッテリー式発電機「G-CROSS」は工事、防災、イベントなど幅広く活用できる製品であり、一台でも多く普及することで人の安心安全に寄与します。



G-CROSSにリフィルバッテリーを入れている様子



左から G-CROSS 本体、リフィルバッテリー

会社概要

代表取締役	平塚 利男		
本社所在地	〒193-0835 東京都八王子市千人町3-3-20		
業務内容	CO ₂ 削減に関するシステムの研究・開発・製造・販売 省エネ型LED(発光ダイオード)照明システムの研究・開発・製造・販売		
資本金	1億円	沿革	創業 平成18年
主な販売・受注先	警視庁、東北電力(株)、鹿島建物総合管理(株)		
従業員数	正社員:6名(パート・アルバイト:6名) 平均年齢:52歳		

連絡先

担当者	営業本部 平塚 雷太		
URL	http://mirai-lab.com		
E-mail	r.hiratsuka@mirai-lab.com		
TEL	042-673-7113	FAX	042-665-1577

株式会社 コバヤシ精密工業

世界初! 産業用ドローン専用エンジンの製品化

ドローンの一般利用が進む中、飛行時間の限界を感じるユーザーが増えてきており、今後ドローンは、ホビー用(短時間飛行目的)のバッテリードローンと産業用(長時間飛行目的)のエンジンドローンの2方向に細分化されて行くことになります。我々は、3年前に事業承継したUAV(固定翼無人航空機)向けエンジンに改良を加え、ドローン用エンジンの開発に成功しました。現在ドローン実機に搭載しテストをしていますが、最終的には3時間飛べるドローンエンジンを目指します。

今後急増するエンジンドローンは、農業用途、災害対策用途など広く展開して行くと考えられます。少子高齢化が進む中、人に代って農作業をするドローンや、災害時の情報収集や物資の輸送に使われるドローンは便利な道具となるでしょう。

そんな便利で快適な世の中の実現に、コバヤシ精密工業は寄与して行きます。



会社概要

代表取締役	小林 昌純		
本社所在地	〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台4-1-54		
業務内容	金属製品加工業		
資本金	1,000万円	沿革	創業 昭和56年
主な販売・受注先	(株)ジャムコ、(株)IAI、新日鉄住金(株)、(株)日本製鋼所		
従業員数	正社員:20名(パート・アルバイト:7名) 平均年齢:41.5歳		

連絡先

担当者	業務統括室 今野 遼太		
URL	http://www.kobasei.com		
E-mail	info@kobasei.com		
TEL	042-751-9095	FAX	045-755-9533



多摩グリーン賞【経営部門】

医療法人社団 大日会 太陽こども病院

太陽こども病院のミッション ～未来を担う子ども達のために私達がやるべき事～

東京都の被虐待児童の「一時保護委託事業」を平成28年から受託した経緯について、ご紹介させていただきます。

昨年度、全国210ヵ所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数はおよそ12万2千件超となり、過去最多となりました。当院でも平成21年から「Child Protection Team」と称して医師や看護師たちが虐待問題にさらされる子供を守る活動を行ってきました。

保護者の事情で子供が家庭で生活できなくなった時や虐待など子供の人権に関わる問題がある時は、子供を一時保護施設などに短期間入所させる必要があります。しかし、被虐待児童の増加に伴い一時保護所は満員状態のことが多く、子供の行き場に困っている現状がありました。

そんな中、東京都が始めた「一時保護委託事業」を受託することによって、一時保護施設が満杯状態にあるときに、病院で被虐待児を受け入れることが可能となりました。

心身共に傷ついた子供に、リラックスのできる安心で安全な環境を提供し、季節ごとのイベントを行ったり、学童には勉強を教えたりしています。少子化が進む中、日本の未来を

担う子供達を守り、健全な成長をサポートするのは、私達大人の責務であります。

これからも小児専門病院として子供達を支えていけるよう日々努力していきたいと思えます。



会社概要

理事長	木内 巻男		
本社所在地	〒196-0003 東京都昭島市松原町1-2-1		
業務内容	病院		
資本金	9,800万円	沿革	創業 昭和54年
主な販売・受注先	—		
従業員数	正社員:270名(パート・アルバイト:20名) 平均年齢:37歳		

連絡先

担当者	小金井太陽病院 木内 良子		
URL	http://taiyo-hp.com		
E-mail	ryoko-kiuchi@koganei-taiyo.com		
TEL	042-383-5511	FAX	042-386-1538



多摩グリーン賞【経営部門】

株式会社 オギノパン

悪条件を独自性でカバー。 今後は供給を絞ることで売上増を狙う。

これまでオギノパンは学校給食を中心に生業を立てておりましたが、創業50年を機に本社工場を現住所に移転する際、工場併設の直売店を作りました。大量に製造するため、大型設備が置ける広い土地を確保できる市街地から離れた場所を選びました。

市街地ではない場所への出店ということは、集客の方法を考えなければなりません。大型設備を生かした工場見学通路、大型バスの誘致、パン教室の開催の3つを柱に、集客に努めました。

すると予想以上の集客で店内が混雑してしまい、かえってお客様にご迷惑を掛けることになってしまいました。さらにスタッフ不足という問題までもが出てきたため、製造部門の軽作業は設備投資でカバー、看板商品2つを店の外で販売、店内レジのセミセルフ化を推進した結果、残業時間の短縮、清算の分散化により混雑緩和と客単価UP、衛生面への配慮が好評で回転率UPにつながりました。

そしてテレビ取材等が増え、催事出店、スーパーへの卸売りのオファーを受けるようになりました。長年培ってきた焼きたて

パンの包装技術・配送網を生かした結果、催事も好評いただき、他のバイヤーからさらに好条件のオファーをいただきました。スーパーへの卸売りは週に1回だけ、焼きたてパンを午後から納品し販売することにしました。しかもそれが特別感を演出し好評を得ています。

これら全ての取り組みの根幹は、企業理念である「みんなよろこぶ」です。お客様、取引先様、従業員等、どうしたらみんなによるこんでいただけるかを考えた結果、自社にとっても良い結果につながっています。今後もみんなに必要なとされる会社を目指していきます。



会社概要

代表取締役	荻野 時夫		
本社所在地	〒252-0154 神奈川県相模原市緑区長竹2841		
業務内容	パン製造販売業		
資本金	1,000万円	沿革	創業 昭和35年
主な販売・受注先	—		
従業員数	正社員:70名(パート・アルバイト:130名) 平均年齢:33歳		

連絡先

担当者	常務取締役 荻野 隆司		
URL	http://www.ogino-pan.com		
E-mail	hpinfo@ogino-pan.com		
TEL	042-780-8121	FAX	042-780-8122



多摩グリーン賞【経営部門】

医療法人社団 おなか会 おなかクリニック

社員や家族を胃がんでなくさないための 若年者ピロリ菌スクリーニング検査の普及活動

社員や家族など大切な人を胃がん死させないためには、胃がんの原因であるピロリ菌感染をチェックし除菌することです。除菌による胃がん発症抑制効果は若いほど大きいのです。日本で毎年5万人近くが死亡している胃がんは、ピロリ菌感染が原因であることが明らかとなりました。胃がん治療は、早期発見・早期治療につきますが、予防がより重要です。

ピロリ菌感染の多くは2歳までに、おもに母親からの感染することはほとんど知られていません。胃がんの原因となるピロリ菌感染を20歳代で発見し除菌をすれば、本人の胃がんのリスクを軽減できるばかりでなく、妊娠・出産前の除菌により次世代への感染をブロックすることができます。しかしながら、若年者のピロリ菌スクリーニング検査は医療の現場ではなかなか普及していません。ピロリ菌感染と胃がんに関する正しい知識の普及と若年者のスクリーニング検査の普及が、胃がん撲滅の鍵を握るものであります。われわれが考案した「二十歳のピロリ菌チェック」は、ピロリ菌の検査方法としては、尿中抗体検査を用いた簡便な方法を採用し、検査説明、結果説明、結果通知書、医療機関への診療情報提供書

などをパッケージ化し、どこの医療機関でも手間をかけずにスクリーニング検査を実施できるようにしました。



多摩グリーン賞【経営部門】

日昭工業株式会社

仕組みで回す! 全社員参加の経営

会社に仕組みがなく場当たりの経営をしていた頃は、経営方針を示せず、ましてや社員も分らず、会社全体がたいへん暗い時代でした。何としてもこの状態から脱却したいと作ったのが「経営計画書」です。あれから10年間、「経営計画書」を毎年作り続け、道具として徹底的に使い込み「経営計画発表会」を行い、企業理念、経営の数字・5ヵ年計画・PDCA・人事評価・新卒採用等を社員、パートさんに理解していただき、全員参加型の会社に変貌しました。

経営計画書を基に半期の計画を立て毎月振り返り、半期が終わると全員でアセスメントを行い次の計画を作り、PDCAを回してきました。その成果は人事評価へと繋がっています。

「企業は人なり」との考えのもと、新卒採用と社員教育に1億円のお金と時間を投入してきました。業績が良くても悪くても毎年2~3名の新卒を9年間採用し続けています。内定が決まるとご両親への挨拶、社長のカバン持ち、内定者研修を行い、内定者と会社のギャップを埋めております。新卒の離職率は9年間で10%、長期的に安定した経営を行えました。

社員教育は、内定者・パート・新入社員・中堅社員・幹部・取締役まで多岐にわたり継続的に行われていきます。今では幹部になった社員が経営計画書作成に加わり、自分たちの手で経営計画書を作るまでになりました。この中には6名の新卒社員も加わっております。



会社概要

理事長・院長	村井 隆三		
本社所在地	〒192-0083 東京都八王子市旭町12-12		
業務内容	医療 有床診療所		
資本金	1,249万円	沿革	創業 平成17年
主な販売・受注先	社会保険診療報酬支払基金、東京都国民健康保険団体連合会、八王子市、八王子市医師会、オリンパス(株)、バイオコミュニケーションズ(株)、一般財団法人日本予防医学協会など		
従業員数	正社員:30名(パート・アルバイト:76名) 平均年齢:40.1歳		

連絡先

担当者	事務課 村澤 和代		
U R L	http://www.m-onaka.com		
E-mail	info@m-onaka.com		
T E L	046-644-1127	F A X	042-644-1380

会社概要

代表取締役	久保 寛一		
本社所在地	〒205-0023 東京都羽村市神明台4-5-17		
業務内容	トランス・半導体製造装置の電源の設計製造販売		
資本金	2,000万円	沿革	創業 昭和42年
主な販売・受注先	(株)日立国際電気、東芝インフラシステムズ(株)、東洋電機製造(株)		
従業員数	正社員:61名(パート・アルバイト:49名) 平均年齢:34歳		

連絡先

担当者	営業技術部 櫻井 大		
U R L	http://www.nissyo-ind.com		
E-mail	sakurai@nissyo-ind.com		
T E L	042-578-8220	F A X	042-578-8224

多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介

～受賞企業の「企業力」の集結が「たまの力」となる～

多摩ブルー・グリーン倶楽部は受賞企業と選考委員、後援団体による組織です。受賞企業の経営課題の解決と相互連携および地域経済の振興を目的に設立され、例会や情報交換を通じて会員相互の連携を深めています。

多摩ブルー・グリーン倶楽部概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩ブルー・グリーン賞受賞者の相互連携による経営課題の解決 ■ 地域中小企業の活性化と、経済の振興のための地域貢献 ■ 地域企業としての社会的使命の遂行
事業活動 (主な活動等)	<p>本倶楽部は、目的を達成するために次の事業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩ブルー・グリーン賞受賞企業の相互連携による経営課題の解決のための事業 ■ 地域中小企業活性化のための企画立案、および経済の振興のための地域貢献事業 ■ その他地域経済振興に関する諸事業
構成員	多摩ブルー・グリーン賞の最優秀賞・優秀賞・特別賞の受賞企業と、選考委員、支援機関、多摩地域の行政(平成29年度企業会員数122先)
会費	無料

平成29年度の主な活動

第23回 例会 《開催日:平成29年4月14日(金)》

講演

墨田区という地域に根ざしているからこそできる「都市型の町工場」「地産地消型ものづくり」の考え方

「墨田区という地域に根ざしているからこそできる「都市型の町工場」「地産地消型ものづくり」の考え方」をテーマに、お話をいただきました。

講師 株式会社浜野製作所

代表取締役CEO 浜野慶一氏



第24回 例会 《開催日:平成29年10月31日(火)》

意見交換会

多摩ブルー・グリーン倶楽部×多摩地区大学就職研究会

「新卒採用」に関する意見交換会

多摩地域18大学のキャリアセンター職員によって構成される「多摩地区大学就職研究会」との連携により、「新卒採用」をテーマに、相互理解と今後の継続的な協力関係の構築を図るための意見交換会を行いました。

■「多摩地区大学就職研究会」加盟校
亜細亜大学、桜美林大学、杏林大学、実践女子大学、白百合女子大学、成蹊大学、創価大学、拓殖大学、多摩大学、玉川大学、中央大学、帝京大学、東京経済大学、東京工科大学、法政大学、武蔵野大学、明星大学、和光大学(五十音順)



事業 1 多摩ブルー・グリーン倶楽部ゴルフコンペ

会員8名と八木理事長が参加し、ゴルフコンペを行いました。当日は晴天に恵まれ、参加者同士で親睦を深めることができました。

実施日 平成29年6月8日(木)

会場 八王子カントリークラブ

参加企業 7社

事業 2 展示会共同出展

2017「よい仕事おこし」フェア(主催:城南信用金庫)に、多摩ブルー・グリーン倶楽部ブースを共同出展しました。

実施日 平成29年8月22日(火)、23日(水)

会場 東京国際フォーラム

参加企業 3社

事業 3 電気通信大学就職交流会

国立大学法人電気通信大学の学生に向けて、参加企業による事業紹介セミナーや、学生との個別面談などを行いました。

実施日 平成29年9月21日(木)

会場 国立大学法人電気通信大学

参加企業 7社

事業 4 多摩未来奨学金

公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩が主催する「多摩未来奨学金」の寄附金を会員企業より任意で募集しました。

協力 11社(平成29年11月末)



主催

多摩信用金庫

後援

- 経済産業省関東経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構 関東本部、東京都、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)東京しごと財団
- 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、相模原市
- 八王子商工会議所、武蔵野商工会議所、青梅商工会議所、立川商工会議所、むさし府中商工会議所、町田商工会議所、多摩商工会議所、相模原商工会議所
- 東京都商工会連合会、三鷹商工会、国分寺市商工会、日野市商工会、清瀬商工会、小平商工会、小金井市商工会、西東京商工会、狛江市商工会、調布市商工会、福生市商工会、東久留米市商工会、東村山市商工会、国立市商工会、あきる野商工会、東大和市商工会、武蔵村山市商工会、稲城市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、昭島市商工会、日の出町商工会
- (一社)首都圏産業活性化協会、(一社)東京都中小企業診断士協会 三多摩支部、(公社)日本フィランソロピー協会、NTTアドバンステクノロジー(株)、(株)キャンパスクリエイト、サイバーシルクロード八王子、TAMA-TLO(株)、東京中小企業投資育成(株)、農工大ティー・エル・オー(株)、(株)まちづくり三鷹、信金中央金庫、信金キャピタル(株)、日本弁理士会関東支部
- 電気通信大学、東京工業高等専門学校、明星大学、公立大学法人首都大学東京、多摩大学、東京経済大学、工学院大学
- 産経新聞多摩支局、時事通信社立川支局、日刊工業新聞社、日本経済新聞社多摩支局、毎日新聞多摩総局、読売新聞東京本社、朝日新聞立川支局、東京新聞立川支局、フジサンケイ ビジネスアイ

[順不同]



第15回 多摩ブルー・グリーン賞

未来につなげる
たまの**カ**

多摩信用金庫 多摩ブルー・グリーン賞 事務局

〒190-8681 東京都立川市曙町2-8-28 多摩信用金庫 地域連携支援部
TEL:042-526-7728(平日9:00~17:00) FAX:042-526-2250